



館山だより

大田区立館山さざなみ学校

校長 長井 恒治

〒294-0223

千葉県館山市洲宮 768-117

TEL 0470-28-1811

FAX 0470-28-1812

<http://academic2.plala.or.jp/tateyama/>

子供への言葉かけ

校長 長井 恒治

長い帰省期間が終わり、区内の学校より五日早く二学期が始まりました。約四十日の間、子供たちは規則正しい生活を意識していたでしょうか。普段決められた時間通りの生活をしている分、家に帰るとだらけてしまいがちだったと思います。今日からまたさざなみでの規則正しい生活が始まります。九月三十日の運動会ではまたシャキッとした子供たちの姿を見ていただけたらと思います。

さて、スポーツ選手の育成等人材開発のためのコミュニケーションを中心とした技法のひとつに「コーチング」があります。十五年ほど前から、これが子育てや教育の分野でも取り入れられてきています。子どもは成長するにつれて、親から指示されることに反発するようになります。私も経験があるのですが、どうしても親子間では感情的になり、終始一貫した態度をとったり、徹底したりするといったことが難しくなってきました。それがコーチングのコミュニケーションスキルを用いると、親が行動としてやるべきことが整理され、具体的に理解できるため、子どもに一貫性をもって接することがしやすくなると思われると思います。

例えば子どもに対する言葉かけです。もちろん子供によかれと思っ

て伝えているわけですが、その言葉をちょっと変えるだけで子供のやる気がぐんと違ってくると思います。

「なぜできなかったの?」→「できなかった理由はなんだと思っ?」
 「なぜ、そんなことをしたの?」→「何をしようと思っ?」
 「準備はできたの?」→「今、どこまでできてる?」
 「やる気はあるの?」→「あなたの今のがんばり度は何点くらいかな?」

「大丈夫?できるの?」→「あなたならきつとできるよ」
 「間に合うの?」→「きつと時間通りにできるよね」

もちろんこう言えはすべてうまくいくというものではありません。腹が立ったときに冷静に言葉を選んで話せるかは難しいところです。でも子供に自分の怒りの感情をぶつけたり、自分の考えを押し付けたり、人と比べて怒ったりしていると、自尊心の低い子供になってしまいます。また子供が成長するにしたがって反抗的になり、荒れてしまうことがよくあります。大人が意識してこつとした言葉を使うことで、子どもたちの思考は肯定的になっていくのではないかと思います。

五年生大房移動教室

五年担任

館山市立房南小学校二十名と館山さざなみ学校八名の計二十八名で、一泊二日の移動教室へ行ってきました。移動教室当日までに、二校で何度も交流会をし、友達の輪を広げることができました。

一日目の磯遊びでは、ヤドカリや小魚を発見し、磯遊びを存分に味わいました。また、アドベンチャーポイントラリーでは、行動班で協力し合い、岬にちりばめられた課題に挑戦しました。地図を頼りに、みんなを声掛け合いながら一生懸命に取り組むことができました。同じところを何度も行ったり来たりしながら何とか課題をクリアした時は、自然と喜びの声が上がっていました。一日目の最後をしめくくるキャンプファイヤーでは、お互いの学校ごとに出し物を披露し、炎を囲みながら一人一言ずつ自分の思いを伝え、特別な時間を過ごすことができました。

二日目は、ピザ作りとスープ作りをしました。生地をこねたり、火をおこしたり、野菜を切ったり等、自分たちで全て作ったピザは味も格別でした。どの児童も大満足の表情でした。

子供たちはこの二日間で、普段の生活では経験できないことをたくさん学ぶことができました。自分から積極的に行動する大切さや、時間を守る大切さ、仲間がいることの大切さ等、たくさんの方々ができました。是非、この経験をこれからの生活に役立ててほしいと思います。



一学期の楽しい寄宿舎生活

寄宿舎指導員

四月九日、ウキウキ、ドキドキで寄宿舎生活が始まりました。六時五十分に取り、二十一時にお休みの生活です。全員が四六時中にこの生活を得とくしました。

四月十五日に全員で布沼公園に行きました。四月二十二日には、全員で草笛を奏でながら、寝釈迦に行きました。たくさん願ひ事をしました。五月十四日はおやつにツイストパンを作りました。五月二十一日は誕生会でレクリエーションを楽しみました。五月三十日は全員でジャガイモを収穫しました。三百キロ収穫できました。ジャガイモは夏祭りのじゃがバター、お土産、収穫祭で用います。六月二十日は全員で強狩りに行きました。この時期はハイケポタルです。運よく、ゲンジボタルも乱舞し、一面が明るくなるほどの蛍を観察できました。館山ならではの体験です。七月一日の誕生会には暑氣払いとして、かき氷を楽しみました。同じ日には、一ヶ月かけて準備してきたシャツの藍染を行いました。当日から、フッションショーが始まりました。今年度はクラブが盛んで、サッカー、野球、縄跳び、一輪車、自転車、太鼓、卓球、絵手紙、宇宙の種が活動しています。



二学期もさらに楽しい取り組みを展開していきます。

収穫祭へのご招待

寄宿舎では、自然に親しむ、生命への畏敬の念を育てる、奉仕の心を育む目的で様々な畑の活動を行っています。

栽培・収穫・加工では、ジャガイモ、小麦、大豆、落花生、そら豆などを栽培し、手打ちうどん、手作りみそづくり、ジャガイモ餅、ピーナッツチョコ、小麦のガムなどの加工を楽しみます。

そうした活動の集大成として、毎年一日をかけて「収穫祭」を行ってきました。収穫祭には、地域の施設の児童、本校職員とそのご家族そして保護者の皆さまをご招待し、ともに楽しんでいきます。今後、保護者の皆さまの移動にはチャーターバスの運行も計画されているとお聞きしています。早い時期ですが、「収穫祭へのご招待」の案内をさせていただきます。

- 一、日時 平成二十九年十一月二十五日(土) 十時—十六時
- 二、場所 館山さざなみ学校 寄宿舎
- 三、内容 一部 十時—十三時 手打ちうどん作りと風食
 二部 十三時—十五時 模擬店
 三部 十五時— 後夜祭 児童の出し物
- 四、参加方法 尚一部は見学のみです。風食のご用意をお願いします。参加は希望者となっています。

参加希望用紙は九月三十日の運動の日と十一月四日の帰省日に寄宿舎職員室の前に準備します。参加の有無と人数をお書きください。その後でも連絡をいただければ、参加・不参加などの変更は前日まで承ります。児童全員で準備を行います。多くのご家族のご参加を楽しみにしています。

食育について

栄養士

さざなみ学校は通常の小学校と違い、朝・昼・夕とおやつ、給食があります。これらの食事は、栄養士が子供たちの成長と健康について考えた上で献立を決めたものであり、食事を通して子供たちの健康的な生活をサポートしています。しかし本当に大切なのは、子供たちが自ら健康的な食事について考えることです。毎日の食事をより意識してほしいという思いから、今年度もバイキング給食を実施し、日々の食生活を見直す契機としました。今回のバイキング給食で重視したのは、「主食・主菜・副菜・その他」のバランスを考えて料理を選ぶことです。普段食べている食事を四つの栄養素に分けて考えることで、バランスの良い食事をすることができると考えました。特に、子供たちは副菜が不足してしまう傾向があります。苦手な野菜などもすすんで選び食べてほしいという思いがありました。

次回中間帰省までの主な行事予定

- <8月>
- 27日(日) 帰校日・2学期始業式、SC 来校
- 28日(月) 身体計測
- 30日(水) 委員会活動、SC 来校
- <9月>
- 1日(金) プール納め
- 6日(水) 外国語活動、SC 来校
- 9日(土) 授業日、もちもちの木
- 12日(火) 体重測定(海、わかしお号来校、SC 来校)
- 13日(水) 体重測定(空・大地) 外国語活動、クラブ活動
- 16日(土) やわたんまち(舎)
- 18日(月) 敬老の日(授業日)
- 19日(火) SC 来校
- 20日(水) クラブ活動
- 22日(金) 研究授業(図工)
- 26日(火) わかしお号来校
- 27日(水) 外国語活動、SC 来校
- 30日(土) 授業日・運動会・帰省日

今年度のバイキング給食では、選ぶことの楽しさと共に食事バランスの大切さを中心に学んでほしくて例年よりも料理の選択範囲を増やす工夫をしました。年内にもう一度このような機会があるため、次回は食品の栄養についてより詳しく学び、食事の大切さを子供たちに伝えていきたいと思っています。

